

弊社の企画スタッフがお届けする、最新セールスプロモーション情報！

市場トレンド情報



コロナ禍での料理に対する気持ち調査
から販促を考えてみました！

マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施したアンケート調査から、コロナ禍での料理について状況をまとめました。

- 調査エリア：全国47都道府県
- 調査対象者：20～60歳男女
- サンプル数：1,100人
- 調査期間：2021年3月12日（金）



※出典：株式会社クロスマーケティング
【自主調査】料理に関する調査（2021年）

1日1回以上料理をする人が半数以上

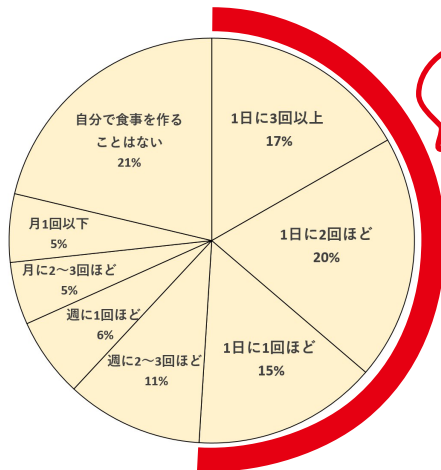


図1.現在の料理頻度
(単一回答、n=1,100)

新型コロナウイルス禍で、料理を1日1回以上すると答えた人が半数以上いました(図1)。また、新型コロナウイルス流行前と比べて料理をする機会が増えたと答えた人が3割いました(図2)。

地域によって、緊急事態宣言や飲食店の時短営業が継続されている影響もあり、外食をする機会が減り、自宅で食事をする機会が増えたためと思われます。

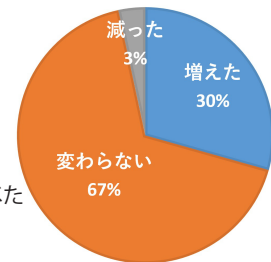


図2.コロナ流行前と比べた料理頻度の変化
(単一回答、n=1,100)



料理をする人の心境とは？

ポジティブな気持ち上位には、「もっと料理の腕を上げたい」や「レパートリーを増やしたい」といった回答が、ネガティブな気持ち上位には、「献立を考えるのが大変」や「後片付けが大変」という回答が男女ともに入っていました。

このような結果から、アレンジレシピを用いた販促やお酒とのマリアージュ提案などの情報発信により、新たな顧客獲得の可能性が考えられます。

弊社でも、アレンジレシピの開発や情報発信のためのリーフレット、WEBページ制作の実績が多数あります。担当営業までぜひご相談ください。

男性	料理をすることに対する現在の気持ち (複数回答、n=866)	女性
●ポジティブな気持ち●		
38.2	調理するのは楽しい	24.3
28.9	もっと料理の腕を上げたい	33.5
28.7	もっと料理のレパートリーを増やしたい	43.9
16.6	作ったことのないレシピに挑戦したい	22.4
23.3	一回の料理にかかる時間を減らしたい	31.8
12.4	料理の頻度を増やしたい	6.3
2.0	コロナ流行直後は大変だったが、最近は楽しくなってきた	1.0
●ネガティブな気持ち●		
12.1	調理するのは苦しい	12.9
33.4	献立を考えるのが大変	64.1
35.7	後片付けが大変	44.9
4.2	料理の頻度を減らしたい	12.4
3.1	コロナ流行直後は頑張っていたが、最近は疲れてきた	9.0
7.3	飲食店の自粛営業が早く解除されてほしい	13.1
11.8	特に感じることはない	4.9

※男女ともに回答数が多かったものを赤くしています

MEMO

アイディア通信やその他のご質問は弊社担当営業
または下記連絡先までお気軽にお問合せください！

弊社既製品情報はこちら！